

福島県中小企業家同友会 郡山支部 様

「選ばれるまち 郡山」 の実現を目指して

令和8年 7月29日

郡山市長 椎根 健雄

これまで…

私の原点

大学卒業後地元へ帰省
青年会議所や商工会で多くの同世代の若者に関わる

(平成23年3月11日 東日本大震災発災)

平成23年11月 福島県議会議員（1期）

平成27年11月 福島県議会議員（2期）

(令和元年10月 東日本台風発災)

令和元年11月 福島県議会議員（3期）

(令和元年～ 新型コロナウイルス感染症の流行)

(令和3年2月13日 福島県沖地震発災)

(令和4年3月16日 福島県沖地震発災)

令和5年11月 福島県議会議員（4期）

福島県議会議員時代



災害現場で聞いた

市民の「声なき声」を政策につなげたい

令和7年4月 郡山市長（1期）～

今後も一貫して「市民目線」と
「現場主義」の政治を貫いてまいります



市長1年目 走りましたっ！！



公務行事 約 1,700 行事
名刺交換 約 4,000 枚

初登庁



2025
4/27

スタート！

4/29



シティーマラソン
今年も参加します！



郡山商工会議所 100周年・
青年部40周年記念式典に出席



1/10



国立競技場へ応援に！
尚志高校男子サッカー部

多くの行事への出席



郵便局に涼み処オープン

・サマーフェスタ
・うねめまつり
・こおりやま産業博 ほか多数

6/13
～7/2



6月定例会

所信表明、郡山駅
西口渋滞対策に着手

6/10



県知事との懇談
ボンズアリーナ



国への要望活動（国土交通省など）
根本拓衆議院議員と



8/8

7/15
猪苗代湖が
ラムサール条約湿地に登録



8/9
夏巡業大相撲郡山場所に出席

9/6
～9/28

郡山市名誉市民
西田敏行展



令和8年度
スタート！！

2/19
～3/19

3月定例会
令和8年度予算



「市民目線」と「現場主義」を貫きながら、
今後も、市政の発展に全力で走り続けます。

市政も力強く
動きましたっ！

郡山駅西口渋滞対策、緊急物価高騰対策、選ばれるまち調査、
ふくしまDCキャンペーン、放課後児童クラブの増設など

即時対応

令和7年度補正予算

市の最上位計画（8年間）人口減少・少子高齢化問題と対峙
※約20の関連する個別計画についても、併せて策定・更新

長期計画

第7次総合計画 策定

（令和8年度～令和15年度）

将来都市像「東北の鼓動 未来を奏でる **選ばれるまち** 郡山」

市政運営の 3つの基本方針

選ばれるまち

暮らしの充実・
笑顔になれるまち

経済の活性化

6つの重点分野からなる「市民とともにまちを“動”かす予算」

具体化

令和8年度当初予算

2,471億9,523万円

（一般会計1,447億円・特別会計1,024億円）

市政運営は新たなステージへ

郡山市第7次総合計画 [令和8年～令和15年]

将来都市像

東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち 郡山

3つの基本方針

- 1 選ばれるまち
- 2 暮らしの充実・笑顔になれるまち
- 3 経済の活性化

6つの大綱

I こども 教育

すべてのこどもが安心して成長できる環境と未来を担う教育の充実

II 産業 仕事

多様な産業の持続可能な仕事・雇用の創出による地域活力の向上

III 交流 にぎわい 文化

人々が集い、交流するにぎわいの創出と誇りや愛着を持てる地域育成

IV 健康 福祉 医療

すべての市民が生涯を通じて心身共に健康で安心して暮らせる社会の実現

V 防災 環境 社会基盤

災害に強く、快適な地域環境とインフラの整備

VI 市民協働 行財政

市民とともに創る開かれた自治と持続可能な行政経営の確立



人口減少、少子高齢化を正面から受け止め、未来を切り拓く様々な「動き」を起こします。

1 選ばれるまち

いま、郡山が「確実に」選ばれています。

共働き・子育てしやすい街 東北1位

住みごころランキング 県内1位

医療機関数 県内1位

農 水稻収穫量 県内1位

SDGs先進度 県内1位

商 商品販売額 県内1位

転入者満足度 90%!

西部第一工業団地 売約・商談80%

開拓者精神

陸の港

中核市

経済県都

音楽都市(楽都)

連携中枢都市圏

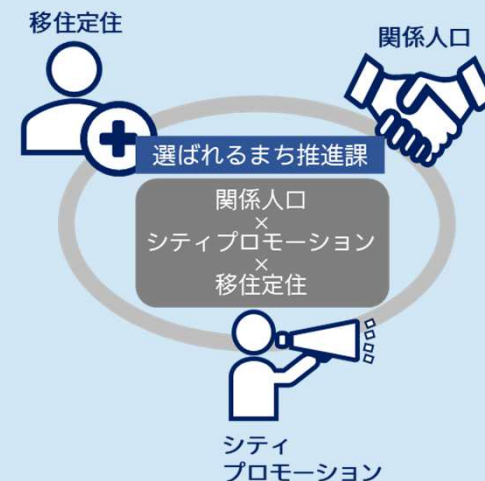
SDGs未来都市

セーフコミュニティ

「選ばれるまち推進課」を設置！

シティープロモーション、移住・定住、関係人口の創出を一体的に進めます。

郡山で暮らす価値を、内外に発信するとともに、これらを実感できる施策を積み重ねていきます。



2 暮らしの充実・笑顔になれるまち

市民の皆様一人ひとりが安心した暮らしを営めること



- すべての市民の皆様が
安心して暮らせる環境づくり
- ・救急医療体制へのさらなる支援
- ・高齢者の健康、自立支援施策の充実



二次救急病院への
支援拡充



健康づくりで
生きいきした生活を

- 子育て支援をさらに充実
ファミリーが住みやすいまちを
 - ・保健・教育・医療の連携強化
 - ・学童保育の充実
- 多様なニーズに応える切れ目のない支援



R Sウイルスワクチン
妊婦対象に公費で



ベップキッズこおりやま
オンライン予約

防災・減災、公共交通～日常を支える基盤整備～

○防災・減災への備え



市管理河川の浸水対策



消防団の充実・強化



A I 解析による路面調査



クマ対策も体制を強化

○公共交通の確保



循環型バスの導入に
関する社会実験（大槻地区）

3 経済の活性化

持続可能な地域経済の発展を目指して

郡山駅周辺エリアの利便性と魅力を向上します。



新たな産業用地の
適地調査を行います



農家支援で
6次化を推進



インターンシップなど
若者の還流事業を拡充



○地元企業の成長支援

○経済県都の強みを活かす政策を

健康医療先進都市のブランディング

福島県は国内屈指の「医療機器生産県」！



医療用機械器具の
部品等出荷金額
(2021)



医療機器
生産金額
(2022)



ふくしま医療機器開発支援センター

農商工等連携による
郡山の“強み”を
活かす！



参考

東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち 郡山

令和 8 年度当初予算の概要

(一部抜粋)



(全体版QR)



令和 8 年 2 月 12 日 (木) / 郡山市

(3) ④まちづくり（ハード） ～令和8年度6つの重点分野 主要施策概要～

▶ まちなかの動！ 郡山駅周辺エリアの利便性と魅力を向上します。

まちなか関連予算
4億8,917万円

ペDESTリアン デッキの整備

回遊性の向上と円滑な移動環境の確保により、まちなかの賑わいを創出します。
※R8年度完成予定
【P.51】

【新】賑わい広場のリニューアル ■ 賑わい広場イメージ

新たなまちなかの賑わいを創出するため、物販やPRイベント、キッチンカーやフリーマーケット等が開催しやすいように、イベント広場をリニューアルします。
【P.45】



西口ロータリーの改修

駅周辺の渋滞解消のため、西口ロータリーの改修を進めます。
(R9年度工事着手) 【P.45】

■ 一般車専用レーン / 一般車降車場

一般車の降車場と乗車場を完全に分離

■ 新たに「一般車乗車待スペース」を設置

■ タクシー専用レーン / タクシープール

タクシーと一般車を完全に分離

【新】バスロータリー環境整備

安心して利便性の高いバスロータリーの環境整備を進めます。
【P.45】

■ バスステーション

バスがより利用しやすくなるよう、案内所・待合所・トイレが一体となった「バスステーション」の整備を進めます。

■ バスロータリー・賑わい広場 デジタルサイネージ

バスの運行情報、観光情報、市政情報などを提供するデジタルサイネージを新たに設置します。



【新】まちなかの遊休不動産の リノベーションを支援

リノベーション経費と賃借料を補助します。
【P.37】



※本ページのイラストはイメージを示したものであり、今後詳細な検討及び関係者との調整を進めます。

新 若者の還流と定着を促進

～中小企業就労支援事業・創業事業承継支援事業の一部～

2,976万円

財源区分：単独

地元企業の若者採用力向上を支援するとともに、本市産業・企業の魅力を発信し、郡山で「働く」「創業する」など、流出若年層の還流と定着を図ります。

【新】企業型奨学金返還支援事業

100万円

日本学生支援機構の奨学金代理返還支援制度を導入する中小企業に、導入費用を補助し人材確保を支援する。

対象：市内に本店を有する中小企業

補助内容：支援制度の新たな導入経費

・社会保険労務士への相談

・自社ホームページの改修 等

補助額：20万円（定額）× 5 社

【新】UIターン促進事業

800万円

(1)インターシップ受入体制構築への伴走支援

対象：市内に本店を有する中小企業

内容：インターシップ受入プログラム作成支援
学生とのマッチング支援

(2)地元産業や企業を知るツアー

対象：県外の若者や女性 1 回

市内の小・中学生親子 1 回

【新】若者による地域資源リハビテーション促進事業

1,326万円

首都圏の大学生等による市内での創業や事業承継の支援に向けた調査等を行う。

(1)地域資源の可視化

対象：創業や事業承継につながる地域企業情報

内容：地域資源をデジタルカタログとして見える化

(2)東京でのプロモーション

対象：首都圏等の起業志向のある大学生

内容：地域資源や創業・事業承継支援を
プロモーション



高校生向け職業体験

ハート事業

600万円

みらい発見フェスこおりやま2026

対象：高校生1・2年生

1,000名程度

内容：地元企業体験、交流

協力：企業20社

オープンファクトリー-KORIYAMA事業

150万円

対象：小学生以上

内容：製造現場の見学

職業体験

協力：企業12社

専門学校 等

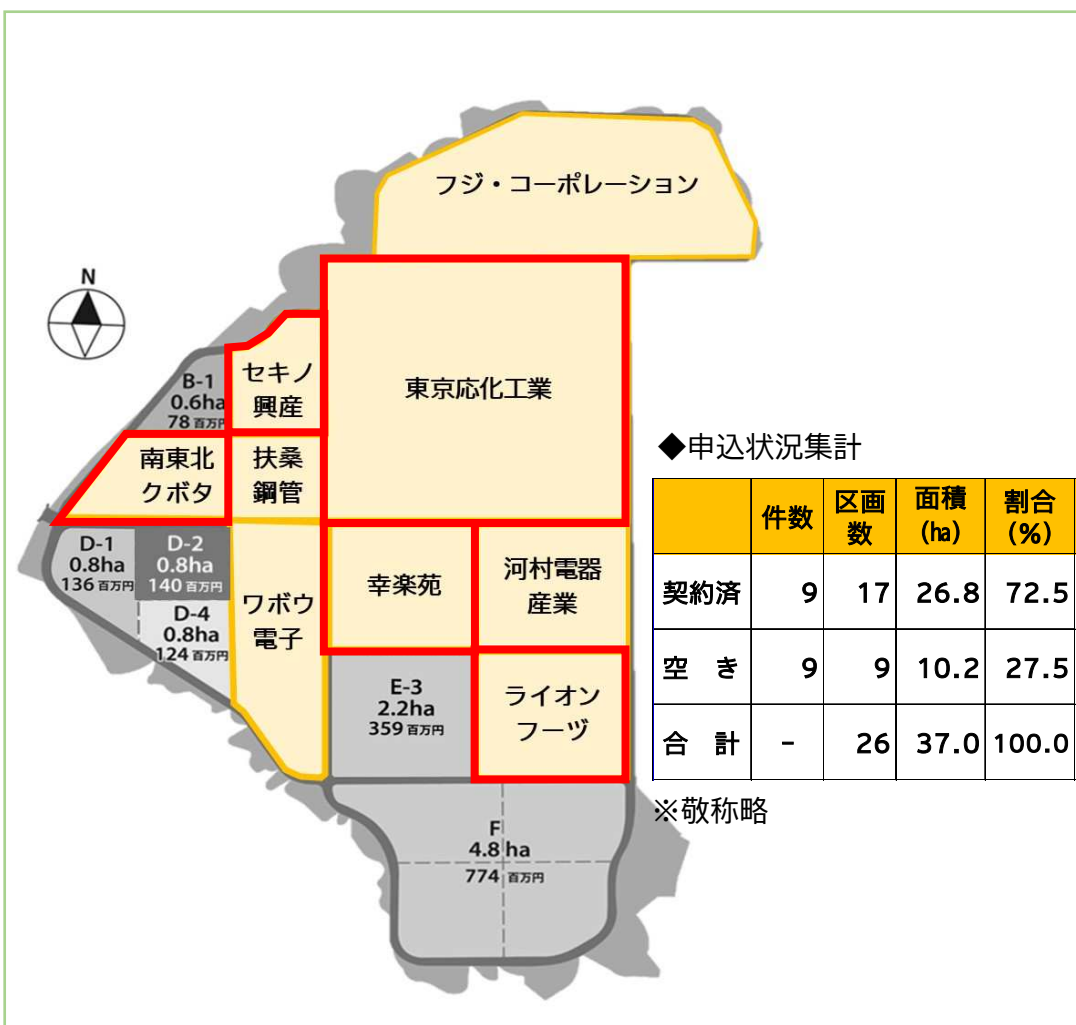
西部第一工業団地へ企業を誘致

～戦略的な企業誘致の推進～

令和8年4月 月例市長記者会見
農商工部産業創出課

本市の立地ポテンシャルを生かした戦略的な企業誘致を進めています。

1 西部第一工業団地第2期工区分譲状況



2 令和7年度に契約締結した企業

No.	企業名(敬称略)	業種	面積	契約日
1	ライオンフーズ(株)	製造業	2.2ha	R7.9.22
2	(株)幸楽苑	製造業	2.2ha	R8.1.13
3	(株)セキノ興産	製造業	1.1ha	R8.3.24
4	東京応化工業(株)	製造業	9.0ha	R8.3.25
5	(株)南東北クボタ	小売業	1.4ha	R8.3.26

3 令和8年度の取組

1 戦略的な企業誘致の推進

医療・教育等の生活環境面や地理的優位性など、本市のポテンシャルを生かした戦略的な企業誘致の推進

2 産業用地の適地調査(令和8年度当初予算)

企業進出の受け皿となる産業用地の適地や開発手法等の検討

- ・ 需要予測 (企業ニーズ等)
- ・ 候補地の検討やコスト推計
- ・ 開発手法の検討

郡山西部第一工業団地 土地売買契約実績（令和7年度）



新 ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC) を契機とした観光誘客推進

～ふくしまDC推進事業、シティプロモーション推進事業等の一部～

3,654万円
(債務負担行為を含む)
財源区分：補助 国1/2等

ふくしまDC期間に合わせ、本市への更なる観光誘客を図るための事業を推進し、地域経済の活性化、そして「選ばれるまち」を目指します。



主な事業概要

1,371万円

こおりやま物産等 トップセールス



日本橋ふくしま館MIDETTE
で本市特産品の販売や観
光のPRを行います。

・実施時期：4月中旬

郡山駅での 魅力発信イベント



郡山駅構内や西口駅前広場
で食の魅力発信や観光PR
を行います。

・実施時期：4～6月

磐梯熱海温泉 周遊促進事業への補助



磐梯熱海温泉観光協会が
実施する地域一体となっ
たイベントを補助します。

・実施時期：4～6月

こおりやま広域圏 物産振興フェア



西口駅前広場で広域圏内の
地域産品の販売や観光PR
を行います。

・実施時期：6月下旬

R7.12月補正予算 債務負担行為設定分 769万円

- ・ウェブサイト・SNS連動による情報発信
- ・こおりやま広域圏 桜フォトキャンペーン
- ・ふくしま&ラッキー 市内周遊スタンプラリー
- ・こおりやま御朱印めぐりPR



ふくしまDC連携企画 1,514万円

- 企画展「ゆる鉄のまち・こおりやま」
(期間：4/11～6/30 会場：歴史情報博物館)
- 企画展「北斎・広重 大浮世絵展」
(期間：4/18～6/21 会場：美術館)



北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》

(観光政策課・歴史情報博物館・美術館) 14

6,118万円

財源区分：補助 国1/2・基金等

～こおりやまスポーツイノベーション事業の一部～

トップスポーツチームを本市の魅力の一つと捉え、地域の食や伝統、文化、観光、若者の活躍等と組み合わせて、地域資源を最大限活用し、各施策の高付加価値化を図ります。

1 事業概要

【継】 トップスポーツ公式戦でのイベント連携

- 市民の無料招待
- 物産品ブースの設置
- 試合前やハーフタイム等に本市で活躍する各種団体がパフォーマンスを披露（他分野と連携した公式戦の高付加価値化）

【新】 郡山駅前等のシティドレッシング

- 郡山駅前等にチームポスター、看板等を設置し、本市のトップスポーツチームをPR

【新】 県外からの観客を案内するツアー開催

- 公式戦の観戦と合わせて温泉旅館宿泊や観光地を案内するツアーを開催

【新】 アウェイ公式戦での郡山市PR事業

- アウェイ公式戦で郡山市名産品を販売するなど、本市の魅力を発信・PR



2 スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トップスポーツ公式戦でのイベント連携（サポーターズマッチ） ・福島ファイヤーボンズ（10月以降：4試合） ・福島デンソーエアービーズ（10月以降：4試合） ・福島レッドホープス（4月～9月：2試合）											
郡山駅前等シティドレッシング											
県外からの観客案内ツアー											
アウェイ公式戦でのPR事業											





拡 選ばれるまち 移住定住、交流促進事業

1億868万円

～移住定住促進事業の一部～

財源区分：補助 国1/2・県1/4等

「選ばれるまち こおりやま」を実現するため、各種団体や市内の各部局との連携を深め、多様なアプローチにより、移住定住、交流の新たな機会を創出します。

【新】ふるさと「KORIYAMA」交流事業 1,184万円

移住（U I ターン）・交流の機会を創出

- (1) 開催場所 都内
- (2) 開催時期 9～10月（1回）
- (3) 対 象 本市出身・ゆかりの若年層、本市立地企業の関連事業者ファンクラブ会員 等
- (4) 来場者数 約200名
- (5) 推進体制 商工会議所、地区商工会 等
- (6) 内容(案) 地元企業紹介・P R、市長と地元企業によるトークショー移住相談ブース、特産品等P R 等

【拡】こおりやま広域圏若者交流事業 949万円

- ・広域圏内外の出会いの場の創出、関係人口強化のためのイベントを開催（9月～10月にかけて2回）
- ・こおりやま広域圏の魅力を首都圏に向けてP Rするウェブ広告を実施

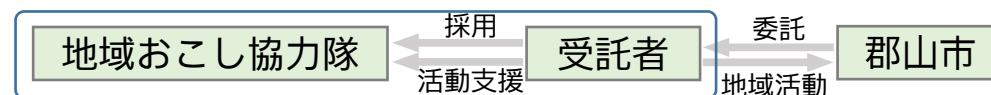
U I ターン移住支援金 7,745万円

東京圏から就業等に伴い移住する方に支援金を交付

- ・単身世帯：60万円
- ・複数世帯：100万円（18歳未満1人につき100万円加算）

【拡】地域おこし協力隊業務委託事業 990万円

- ・新たに2名の隊員を委嘱し、地域活性化を推進
- ・採用から活動まで一体的に支援《企業委託型》



部局間連携（例）

連携を深め、移住定住、交流の好循環を目指します

- （農商工部）U I ターン促進事業
- （農商工部）若手経営者による地域資源リハーショナル還流促進事業
- （農商工部）奨学金代理返還支援制度導入促進補助金
- （市民部）Koriyama Z-LINK創設（パートナー制度）



新 中心市街地のリノベーションまちづくりを支援

544万円

財源区分：単独

～中心市街地活性化推進事業の一部～

中心市街地における遊休不動産を活用する際のリノベーション経費及び建物賃借料を補助し、遊休不動産の利活用を促進することで、まちなかの魅力向上を図ります。

1 事業概要

名 称	郡山市まちなかりノベーション支援補助金	
内 容	遊休不動産をリノベーションし、店舗（飲食サービス業等）、オフィス等として利活用する方に対し、リノベーション経費及び賃借料を補助	
対 象 経 費	リノベーション経費	賃借料
	内外装工事・設備工事費・残置物撤去費等	最大で2年間助成
補 助 金 額 (補助率1/2)	重点区域：150万円上限 その他：50万円上限	月額3万円上限

事業イメージ

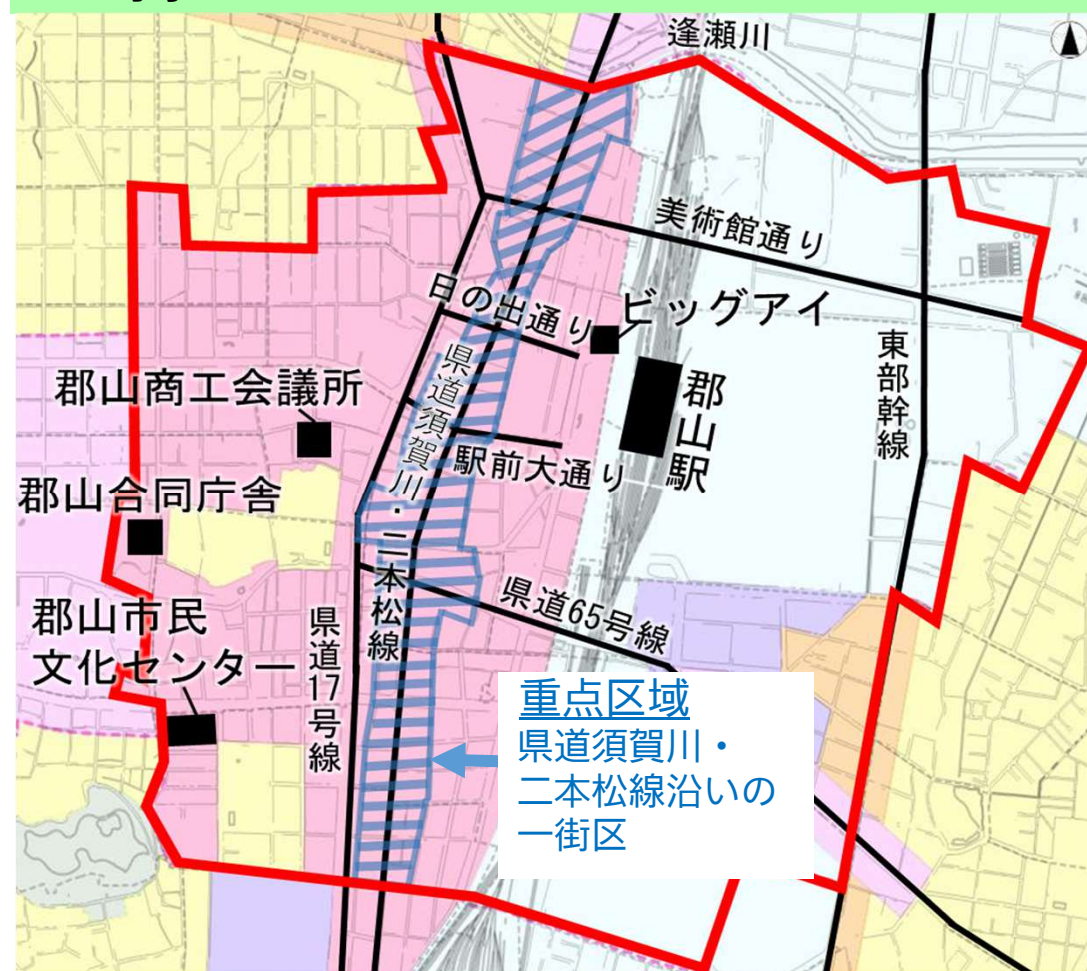


リノベ後



【八王子市中心市街地空き店舗改修費補助事例】

2 対象エリア



7 億2,144万円

財源区分：単独・市債

新 けんしん郡山文化センターの照明機器更新と 今後の整備検討

～市民文化センター改修事業～

けんしん郡山文化センターの機能維持のため、舞台照明調光機器等の修繕を行います。
また、より魅力的な施設を目指すため、効果的な大規模改修か建替などの可能性を含めた検討を行う庁内検討チームを設置します。

照明機器更新

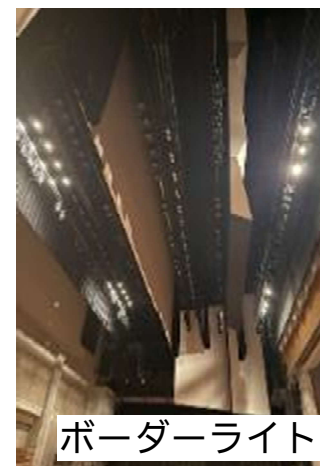
7 億2,014万円

舞台設備の老朽化による修繕及びエントランス
照明のLED化を行う。

- ・ 舞台照明調光機器修繕
- ・ ボーダーライト修繕（L E D化）
- ・ エントランス階段ダウンライト修繕（L E D化）

<スケジュール>

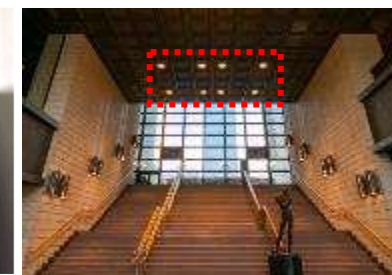
4月	5月	6月	7月	8月～1月	2月	3月
			契約	機器製造期間	工事期間	
					※大ホール 中ホール	休館



ボーダーライト



調光器盤キャビネット
・ 大ホール16台
・ 中ホール 8 台



エントランス

【新】 庁内検討チームの設置

130万円

○部局間連携による庁内検討チームを新たに設置

- 効果的な大規模改修の手法
- 建替の可能性の調査
- 活用可能な財源の調査
- 先進自治体の視察 等

【拡】持続可能な医療体制の確立への支援強化

～二次救急病院運営助成事業、
医療従事者支援事業・新興感染症対策体制整備事業の一部～

1 億6,299万円

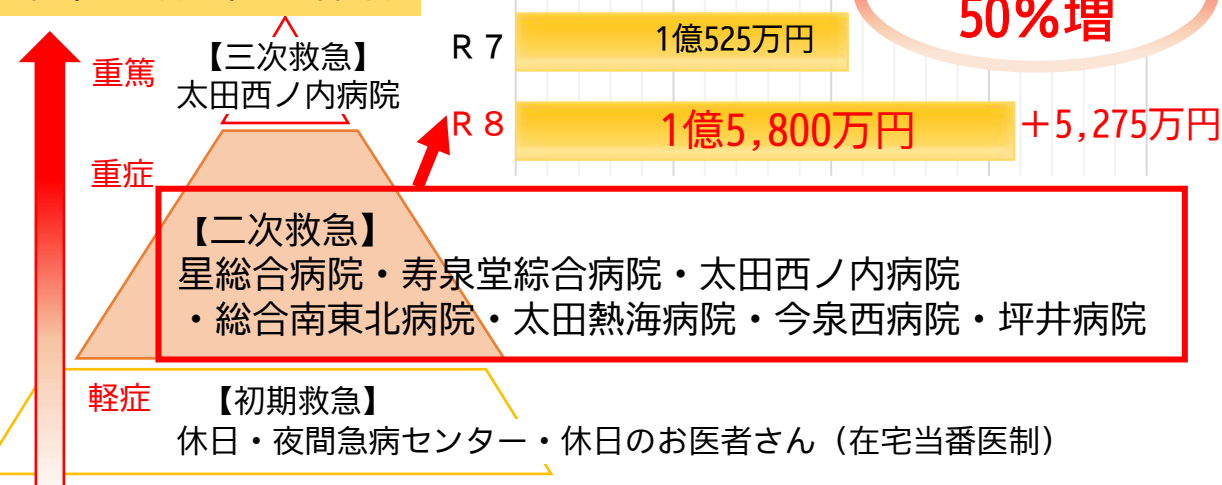
財源区分：単独

ひっ迫する救急医療体制や、助産師不足の解消及び感染症対策を強化するため、医療機関等に対する財政支援を強化し、地域医療の充実を図ります。

【拡】二次救急病院への支援拡充

1 億5,800万円

本市の救急医療体制



支援拡充の主な要因

- ✓ 物価上昇に伴う薬剤や医療物資高騰への対応
- ✓ 高齢者の救急搬送の増加に備えた対応



【拡】医療従事者育成支援

499万円

	助産師の資格取得	感染管理認定看護師（ICN※）の資格取得
目 的	助産師の充足率の向上	新興感染症に対応する認定看護師の育成
対 象	助産師養成校への就学を支援する医療機関	当該認定看護師を育成する医療機関

※ICN：地域と連携して感染対策をリードし、地域全体の安全を高める専門家



拡 駅前広場施設を一体的に整備

1 億5,373万円

財源区分：補助 国1/2

～駅前広場施設改修費～

交通結節点の機能強化を図り、すべての人が安心して円滑に移動できるまち「郡山型コンパクト＆ネットワーク都市構造」の実現に向けた交通の「リ・デザイン」を推進します。

1 郡山駅西口ロータリー

R 8 年度	・現地測量 ・実施設計
R 9 年度	改修工事着手



2 郡山駅西口駅前広場

R 8 年度	・構想立案 ・基本計画策定 (賑わい広場 リニューアル 検討 等)
R 9 年度	関係機関協議



3 バスロータリー

R 8 年度	基本計画策定 (デジタル サイネージ等)
R 9 年度	実施設計



4 バスステーション

R 8 年度	・構想立案 ・基本計画策定 (バスステーション検討等)
R 9 年度	実施設計



※これらはイメージです。
今後詳細な検討及び関係者との調整を進めます。

240万円

財源区分：単独

～旧豊田貯水池利活用事業の一部～

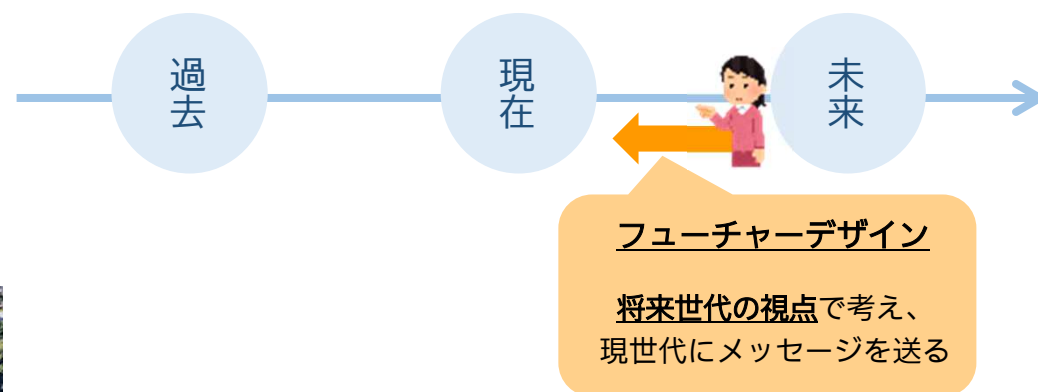
旧豊田貯水池を開成山地区と一体的に捉え、市民や関係団体と共に考える機会を創出するため、フューチャーデザインの手法を用いてワークショップを開催します。

1 ワークショップ概要

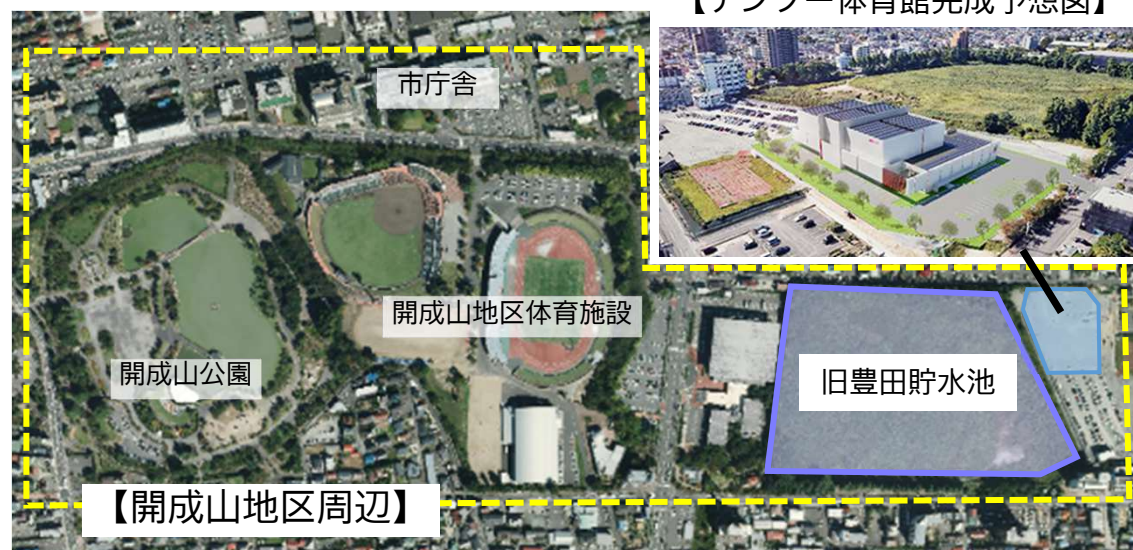
回 数	3回
メンバー	商工関係団体、Z世代市民、市職員等30名程度
内 容	・開成山地区を含めた利活用検討 ・フューチャーデザインの講演会とワークショップを開催

2 フューチャーデザインとは

様々な課題に対し、その課題の影響が及ぶ「**将来世代の視点で**」考えることで、将来世代の利益も踏まえた意思決定を行えるようにする手法のこと。



【デンソー体育館完成予想図】



3 スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札契約			講演会・ワークショップ								
			①	②	③						

(5)トピックス⑤～物価高騰対策（対策一覧）～

物価高騰 対策

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時
交付金」を活用した物価高騰対策一覧

総事業費
26億1,284万円

I 生活者への支援

12月補正(議決済)
2億3,700万円

物価高対応子育て応援手当支給事業
予算額 **2億3,700万円**
◆児童1人当たり **5,000円** 支給

〈国の「物価高対応子育て応援手当支給事業
費補助金」による支給〉
予算額 **9億7,378万円**
◆児童1人当たり **2万円** 支給

1月補正(議決済)
10億5,922万円

住民税非課税世帯への給付事業
予算額 **5億6,000万円**
◆1世帯当たり **1万5,000円** 支給

高齢者(75歳以上)世帯への給付事業
予算額 **2億8,500万円**
◆1世帯当たり **1万5,000円** 支給

II 事業者への支援

中小企業等賃上げ支援事業 予算額 **1億502万円**
◆労働者1人当たり **1万円**

飼料価格高騰緊急対策事業 予算額 **5,320万円**
◆牛1頭当たり **4,000円～1万7,000円**

酒米高騰支援事業 予算額 **250万円**
◆1事業者当たり **上限50万円**

民間児童施設光熱費等支援事業 予算額 **5,198万円**
◆児童数区分に応じて支給

こども食堂支援事業 予算額 **152万円**
◆1食堂当たり **1.2万円～13万円**

R 8当初予算

13億1,662万円

水道料金等負担軽減事業 ◆すべての水道契約者
◆給水区域外の世帯 水道基本料金半年分免除 予算額 **13億円**
家計支援給付金支給 予算額 **1,662万円**

参考

東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち 郡山

令和8年6月定例会提出議案の概要

(一部抜粋)

動
UGOKU! 6月

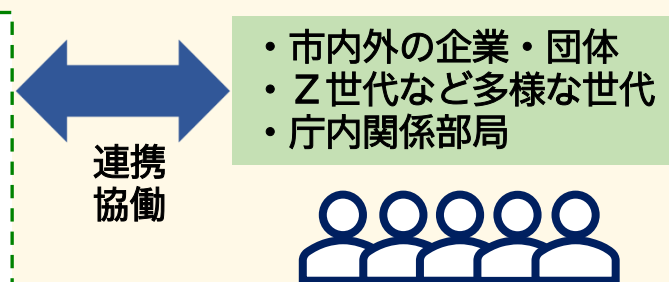
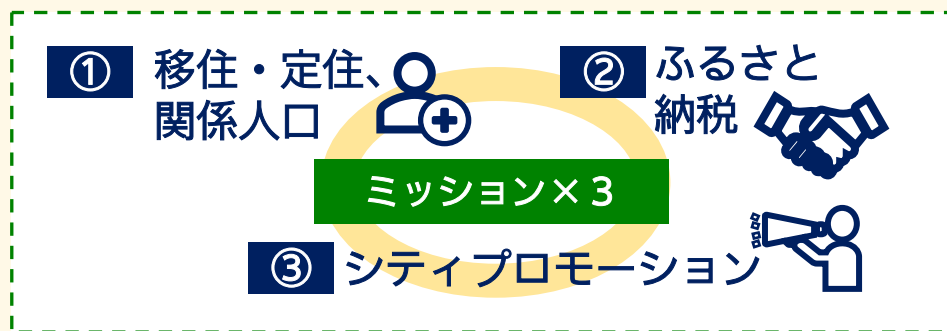


注目！ 選ばれるまち推進課の“ミッション×3”を加速！

「選ばれるまち郡山」の実現に向けて、移住定住・ふるさと納税・シティプロモーションを力強く推進する各種施策を拡充します。

選ばれるまち推進課のミッション

- 「郡山を選ぶ人や企業等を増やす」事業に特化
- 若者、移住者、企業等の「外からの流れ」を創出



郡山を**動**かす！

補正予算で“**ミッション×3**”を加速！

ミッション① 移住・定住促進事業

- ・ 移住相談・イベントを通じた交流機会創出
 - ・ 郡山ファン獲得による関係人口拡大
- 1億959万円

ミッション② こおりやま応援寄附金事業

- ・ 首都圏でのPRや企業・団体へのアプローチ
 - ・ 庁内を挙げた返礼品開発・掘り起こし
- 1億2,167万円

ミッション③ シティプロモーション推進事業

- ・ SNSやインフルエンサー等による情報発信
 - ・ 住民参画型プロモーションイベント開催
- 2,654万円



転出者属性に応じたプロモーションと意向分析による政策立案

新 転出者アンケート & プロモーション (P8)



ふるさと納税に係る発信力強化や全庁的推進体制の構築

拡 各種ふるさと納税フェア等出展
・ 庁内向け講演会開催 (P9)



認知度向上やシビックプライド醸成の更なる促進

新 高速道路カントリーサインリニューアル (P10)



新 ブースト 1 転出者アンケート & プロモーションを実施

477万円

財源区分：単独

～移住・定住促進事業の一部～

転出者に対しアンケートを実施し、移住・定住及び関係人口施策立案に活用するとともに、離れても続く関係づくりにつなげます。

1 事業概要

方 法	①対象者にハガキを送付 ②QRコードを読み込み、設問に回答 ③回答内容を集計・分析
対 象 者	令和6年4月1日から令和8年3月31日までの転出者のうち10,000人
アンケート内容	・転出動機 ・郡山市の居住環境の評価 等
プロモーション内容	・市のファンクラブやSNSに関する情報等をハガキに印字 ・回答者の中から抽選で特産品を送付

2 期待される効果

アンケート結果による
データに基づく政策立案

- ・本市での居住経験
- ・転出先での生活経験

双方を比較した回答

効果的な政策立案

プロモーションで
転出者から関係人口へ

本市での居住という接点

S N Sフォローやファンクラブ入会

市のPRや将来的な地域活動の担い手へ

離れてもつながるプラットフォームの構築へ

3 スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
契約	アンケート内容作成	アンケート実施	結果集計・分析 ・次年度予算への反映	結果公表 ・パンフレット等への活用		



①アンケート送付



②WEB回答



③集計・分析

拡 ブースト **2** ふるさと納税寄附額向上への取り組みを強化

179万円

～こおりやま応援寄附金事業～

財源区分：単独

イベント出展を通じた発信力強化や全庁推進体制を構築し、ふるさと納税受入額向上に資する基盤的取り組みを推進します。

1 ふるさと納税関連イベントへの出展 170万円

目的・内容	寄附集中期間である年末に向けた寄附額の向上を図るためのプロモーションを実施 ・ふるさと納税返礼品の試食・試飲 ・移住・定住PR ・キャラクタープロモーション ・インスタフォローキャンペーン ・ファンクラブ会員獲得 等
出展イベント（予定）	＜首都圏 11/22（日）・23（月・祝）＞ 楽天 超ふるさと納税祭 @幕張メッセ（千葉県） ＜関西圏 秋頃＞ 出展イベント等調整中



【参考】イベント開催時の様子
参加により首都圏、関西圏の二大都市圏へ集中PR

2 庁内職員向けセミナー 9万円

目的	納税額増加の実績のある外部の専門家によるセミナーを開催 →ふるさと納税に関する全庁推進体制を構築
内容（予定）	現状把握、各課事業における寄附推進のメリット、グループワーク等

新 ブースト3 高速道路カントリーサインをリニューアル

201万円

財源区分：単独

～シティプロモーション推進事業～

市内の高速道路に設置されているカントリーサイン（※）を更新し、本市の魅力を発信するとともに、小学生へのワークショップを通じて“バックグラウンド”の醸成を図ります。

※カントリーサイン：市町村の境界に設置されている道路標識で、市町村を象徴する行状と市町村名を合わせたもの。

1 カントリーサインについて

設置場所		現在のデザイン	設置時期
東北自動車道	上り (喜久田町)		平成 4年
	下り (安積町)		
磐越自動車道	上り (熱海町)		平成 3年
	下り (西田町)		平成 7年

2 事業概要

(1)カントリーサインのデザイン作成

- ①カントリーサイン設置場所付近の小学校で、地元の魅力や誇れるものについて考えるワークショップを開催（各校2回）し、デザイン案を作成
- ② ①の小学校の案をもとに、デザインを学ぶ地元大学生等が看板デザインを制作

(2)看板シートの作成・設置

- ・アフターDCに備えて来年3月に設置予定

3 スケジュール

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学生ワーク ショップ		大学生 デザイン		★	制作	設置
			デザイン決定			

(選ばれるまち推進課) 27

拡 ツキノワグマの出没増加に伴う追跡・監視体制を強化

381万円

～鳥獣被害防止総合対策事業費～

財源区分：単独

本年4月8日に実施した緊急銃猟を受け、ツキノワグマの出没増加に伴う「追跡・監視体制」を強化します。

1 緊急銃猟に係る意見交換会

開催概要	本年5月1日 郡山市役所
出席者	警察署、猟友会、福島県、郡山市
内容	課題抽出、知見共有、連携強化 等

■ 意見交換の主な内容と緊急銃猟における課題

(1)市街地での追跡・監視体制

市街地の人目につかない
やぶの中に留まったり潜伏
➡初動段階より、夜間を含め、
ドローン活用が有効



【意見交換会】

(2)現地対応従事者の安全対策

クマとの距離が近く、安全対策が課題
➡自身を守る器具を所持し人身被害防止に備えるべき



【ツキノワグマ】

2 追跡・監視体制の強化

217万円

赤外線カメラ搭載ドローン

- ・サーチライト（夜間対応）
- ・スピーカー（誘導）
- ・機体講習 等

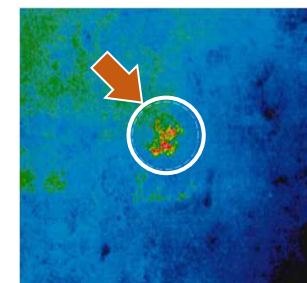
既存ドローンに加え
クマ対策としては
初装備



【ドローンイメージ】



【逢瀬川上空画像】



【赤外線カメラ画像】

3 安全対策の強化

164万円

資材を追加調達

- ・クマスプレー
- ・スタンドライト
- ・ポータブル電気柵 等



【スタンドライト】



【電気柵イメージ】

新 職員が生活保護業務で使用する 「ケースワーク A I 支援サービス」を導入

178万円

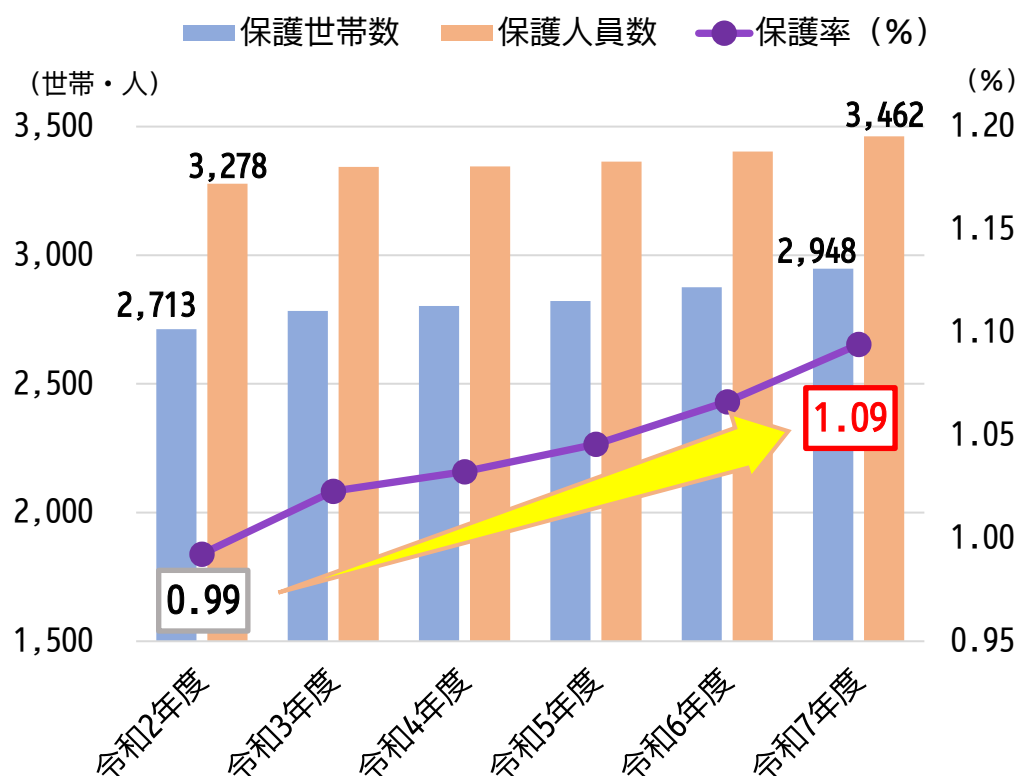
～生活保護施行事務費～

財源区分：補助 国3/4等

A I を活用して根拠法令や国の通知から瞬時に最適な検索結果を得られるシステムを利用し、業務の迅速化・均一化による市民サービスの向上に取り組みます。

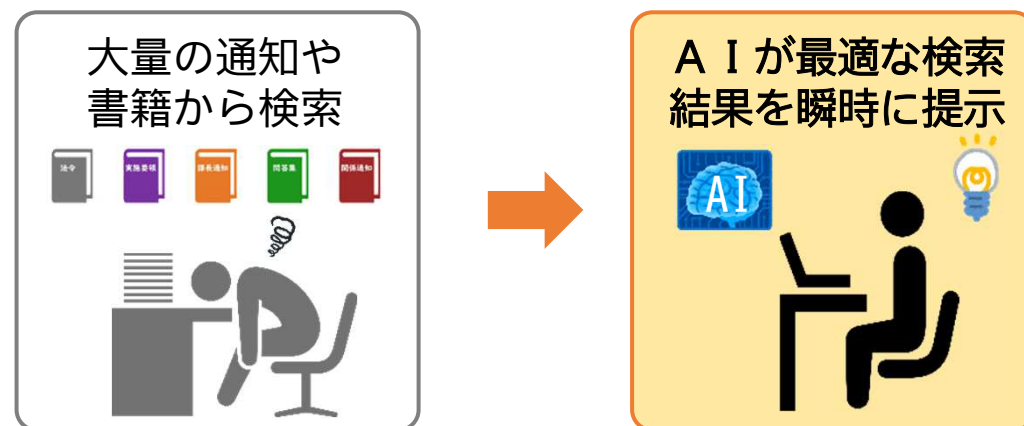
1 導入の背景

- 生活保護世帯が年々増加
- 複雑化・多様化する相談への対応



2 A I 支援サービスの機能

- 生活保護業務に関連した膨大な情報から最適な検索結果を得られる
- 業務マニュアルや疑義照会集の登録などの拡張性



3 導入効果

業務スピードの向上
業務経験の補完

市民サービスの向上



国民健康保険税率等を改定

△1,246万円

～国民健康保険事業〈国民健康保険特別会計〉～

財源区分：補助 県等

国民健康保険特別会計における本算定を行い、令和8年度税率等の改定のほか、地方税法施行令の改正を受け、課税限度額及び軽減判定所得を改定します。

令和8年度税率等、課税限度額及び軽減判定所得

※（ ）内は現行税率等からの増減分

区 分		基礎課税（医療）分	後期高齢者 支援金等分	介護納付金分	子ども・子育て支援 納付金分（新設）P14
税率等	所得割	6.0%（△1.3%）	2.9%	2.2%	0.3%
	均等割 [1人あたり]	23,100円	8,000円	10,500円	1,300円
	18歳以上均等割 [1人あたり]				100円
	平等割 [1世帯あたり]	17,000円（△1,400円）	6,400円	5,300円	800円
課税限度額		670,000円（+10,000円）	260,000円	170,000円	30,000円

低所得者層の負担軽減のため、軽減判定所得を法定まで引き上げる

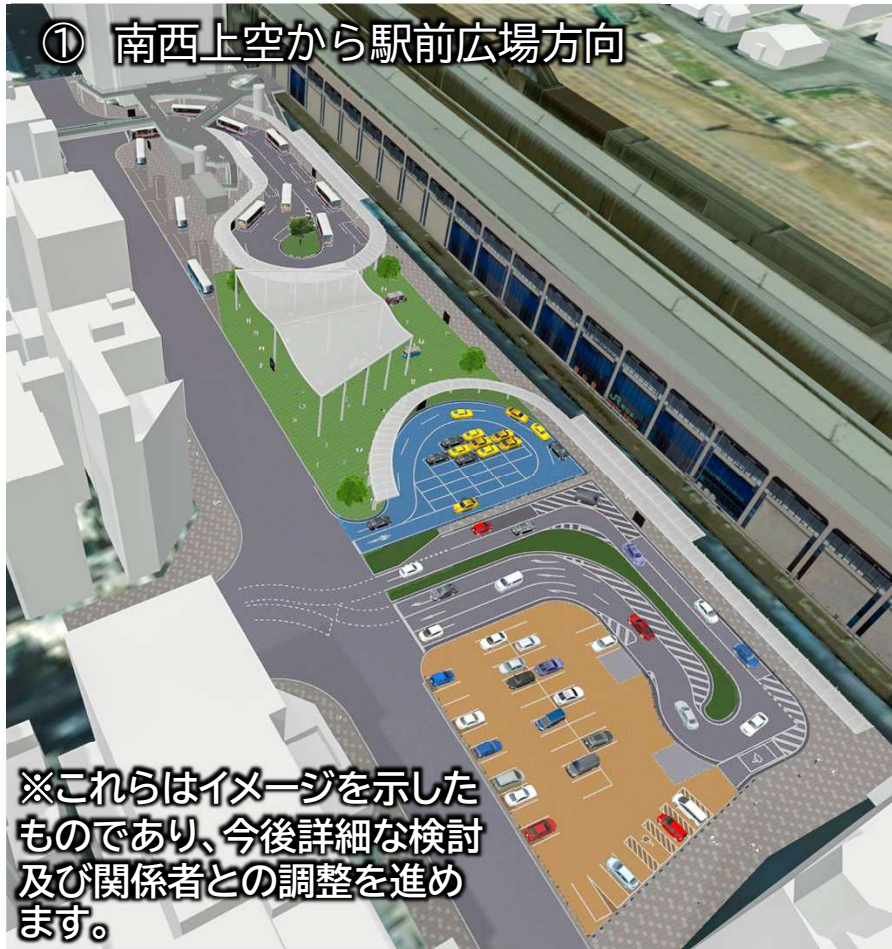
軽減判定所得
P14

- ・ 2割軽減 43万円+（57万円（+1万円）×被保険者数）+10万円×（給与所得者等の数-1）以下
- ・ 5割軽減 43万円+（31万円（+0.5万円）×被保険者数）+10万円×（給与所得者等の数-1）以下
- ・ 7割軽減 43万円+10万円×（給与所得者等の数-1）以下（※改正なし）

郡山駅西口駅前広場のリニューアル構想

東北の鼓動 未来を奏でる 「選ばれるまちへ」 郡山駅西口駅前広場が生まれ変わります

① 南西上空から駅前広場方向



② 南西ホテルからロータリー方面



③ 南からロータリー越し駅前通り方面



西口ロータリー改修

- ・タクシーと一般車の動線を完全分離
- ・慢性的な渋滞緩和

④ 賑わい広場からロータリー方向



- ・イベント等が開催しやすい空間の創出

賑わい広場の
リニューアル

項 目

令和8年度

令和9年度

令和10年度以降

郡山駅周辺 110ha

郡山駅西口ロータリー

6月公告
7月契約

基本計画策定

実施設計

改修工事 着手

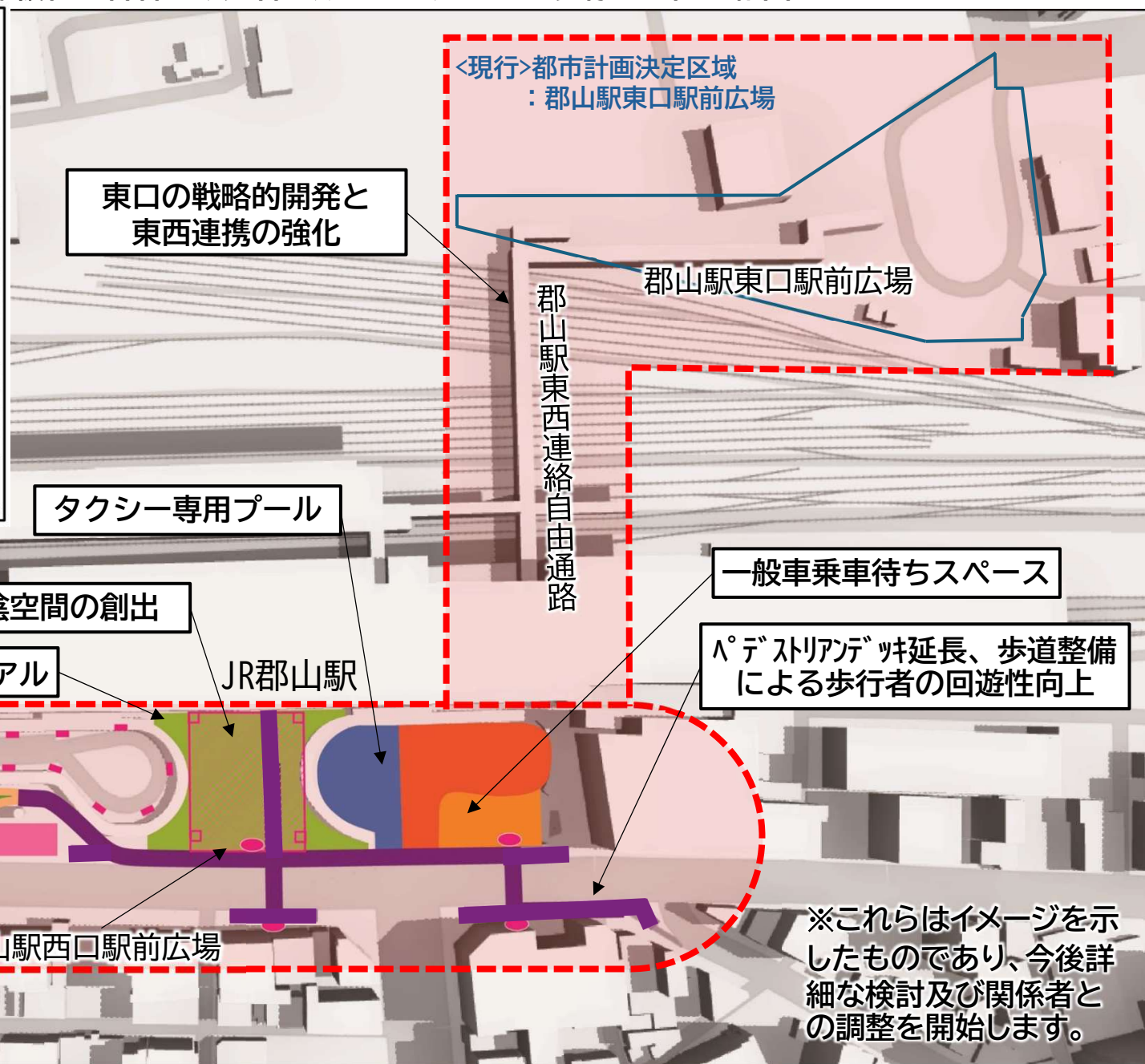
郡山駅西口駅前広場、大屋根
バスステーション 等

実施設計

改修工事 着手

郡山駅東口・西口の基本構想

- ビジョン ○将来都市像 「東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち郡山」の実現
○郡山駅前周辺の渋滞緩和と若者や観光客で賑わう、魅力ある多様な空間を創出



郡山駅周辺 110ha 基本構想

物価高騰に対する緊急対策（6月補正予算追加提案）

物価高騰から地域経済と暮らしを支える追加対策 2億6,699万円

財源区分：重点支援地方交付金，一般財源等
(1億7,212万円) (9,487万円)

～物価高騰に対応した切れ目のない地域経済支援～

令和7年度及び令和8年度において実施中の事業（27億1,924万円）

市民・事業者（約13億円）

水道基本料等 家計支援金

個人・家計等の生活者支援（約12億円）

0歳児養育世帯 子育て世帯 非課税・高齢者世帯

事業者への支援（約2億円）

中小企業賃上げ 飼料価格 酒米高騰 児童施設光熱費 こども食堂

☆ 観光関連事業者支援(重点支援) 令和8年度追加実施事業（2億6,699万円）

1 市内旅館等宿泊支援事業（文化スポーツ観光部）

1億7,885万円

市内宿泊施設への宿泊者に対し、1人1泊5,000円以上の宿泊につき2,000円をクーポン割引する。
(福島県の「また来て。」割と併用した場合、最大5,000円割引(福島県3,000円割引+郡山市2,000円割引))

1人1宿泊あたり2,000円 割引

対象

・市内宿泊施設宿泊者
約65,000人泊分

実施時期

令和8年11月頃～
※県「また来て。」割同様
(詳細未定)

R8追加交付金
1億968万円

R7未活用交付金
6,244万円

☆ 地域交通・運送事業者支援(重点支援)

2 公共交通事業者支援事業（都市構想部）

2,200万円

原油価格や物価高騰の影響により厳しい経営環境にある市内の路線バス事業者及びタクシー事業者に対し、給付金を支給する。

1台あたり
路線バス 70,000円 支給
タクシー 20,000円 支給

対象

・路線バス 150台分
・タクシー 575台分

支給時期

令和8年9月頃～

3 運送事業者等支援事業（農商工部）

6,614万円

原油価格や物価高騰の影響により厳しい経営環境にある市内の運送事業者に対し、給付金を支給する。

1台あたり
貸切バス 50,000円 支給
トラック等 10,000円 支給
自動車運転代行 7,500円 支給

対象

・貸切バス 195台分
・トラック等 5,171台分
・運転代行 110台分

支給時期

令和8年9月頃～

(参考)

国・県 の主な緊急対策

国 電気・ガス
約5千円/1世帯（7月～9月）
重点支援地方交付金追加
1,000億円

県 特別高圧電力
1.8円/kwh（7月・9月）
2.3円/kwh（8月）
LPガス
750円/1世帯等

エネルギー価格や物価高騰の影響を
受けている宿泊事業者への支援事業の実施

1億7,885万円

財源区分：重点支援地方交付金 一般財源

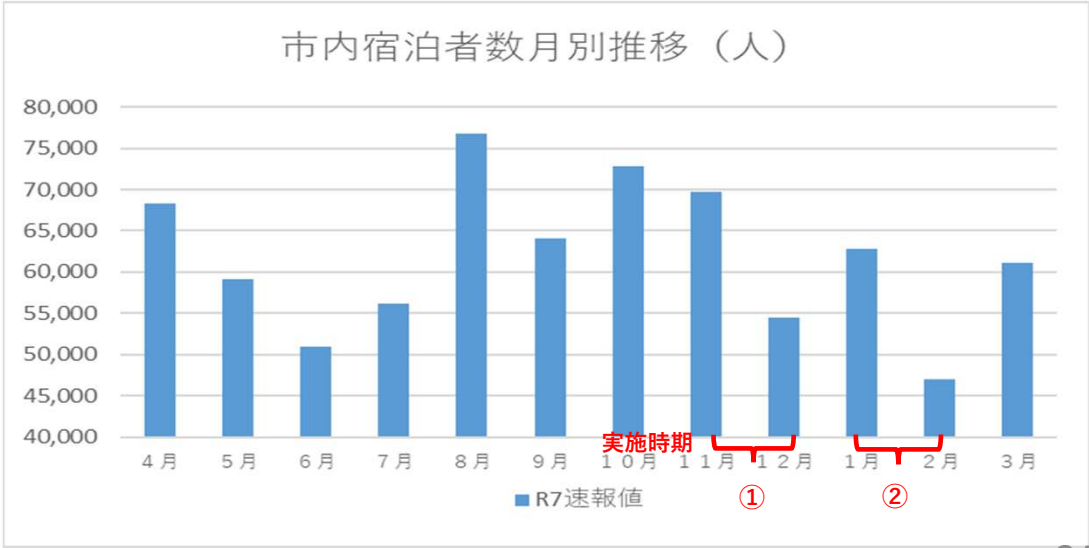
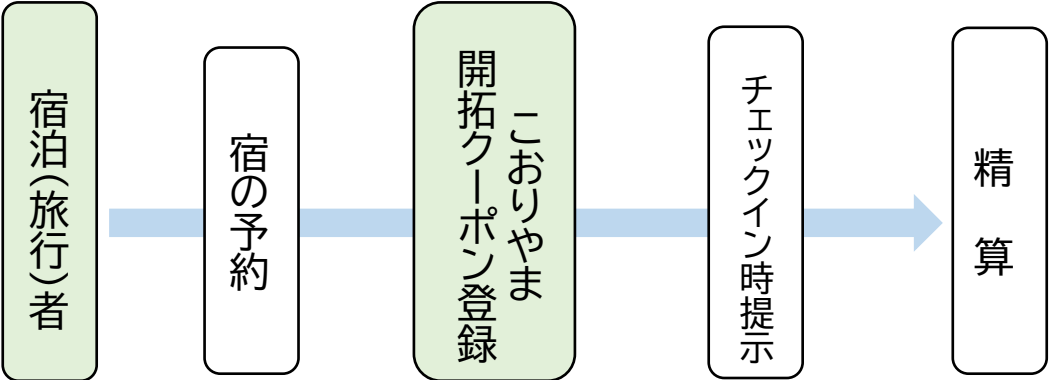
～市内旅館等宿泊支援事業「こおりやま開拓クーポン」～

エネルギー価格や物価高騰の影響を受ける市内の宿泊事業者を支援するため、市内宿泊施設の宿泊者に対して、クーポンを発行し、宿泊割引を行い、宿泊事業者を含めた関係事業者への経済効果の波及を目的とする。

1 事業概要

対 象 者	市内への宿泊者（約65,000人泊）
支 援 内 容	1人1泊5,000円以上の宿泊につき2,000円割引 ※秋期・冬期の実施を予定している福島県の「また来て。」割（3,000円割引）と重複する期間であれば併用可
実 施 期 間	令和8年11月・12月及び令和9年1月を予定 ※右：グラフ参照 →

2 クーポンの使用の流れ



新 公共交通事業者・運送事業者等への支援

8,814万円

～公共交通運行支援事業・こおりやま中小企業活性化事業～

財源区分：重点支援地方交付金 一般財源等

中東情勢による影響の中、市民の日常生活や地域経済を支えるため、公共交通事業者の運行維持や運送事業者等による地域物流の確保に向け、原油価格や物価高騰に対する支援を行います。

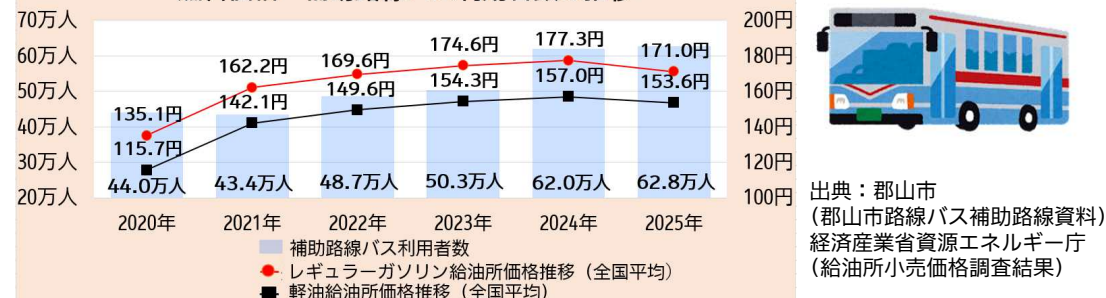
車種	1 台あたり 支援額	車両台数	支援額 (予算額)	要件		内容
路線バス (高速バス含む)	7 万円	150台	1,050万円	・一般旅客自動車運送事業者	市内に本 社又は営 業所があ る事業者 で登録・ 保管場所 が市内で あること が証明で きる車両	✓公共交通事業者の運行維持に 対する支援 ✓運送事業者の地域物流確保に 対する支援 ✓原油価格・物価高騰に対する 支援金の支給
タクシー	2 万円	575台	1,150万円			
貸切バス	5 万円	195台	975万円			
トラック (緑ナンバー)	1 万円	5,171台	5,171万円	・一般貨物自動車運送事業者 ・特定貨物自動車運送事業者 ・貨物軽自動車運送事業者		
軽貨物 (黒ナンバー)						
運転代行随伴車	7,500円	110台	82.5万円	・福島県公安委員会の認定を受 けた自動車運転代行業を行う 事業者		

サプライチェーン別の価格転嫁率の動向

川上業種		商流		川下業種	
鉄鋼・非鉄・鋳業	48.9	化学品卸売	62.1	建設	43.9
化学品製造	48.7	鉄鋼・非鉄・鋳業製品卸売	57.7	食品スーパー	41.8
輸送用機械・器具製造	47.8	建材卸売	55.5	アパレル小売	38.9
建材製造	45.4	機械・器具卸売	53.2	自動車・同部品小売	35.8
飲食料品製造	45.0	飲食料品卸売	52.2	家電小売	33.6
機械製造	43.9	アパレル卸売	43.6	飲食店	32.8
電気機械製造	41.4	電気・ガス・水道	33.0	不動産	29.6
アパレル製造	41.3	運輸・倉庫	32.3	旅館・ホテル	28.2
農・林・水産	29.8			娯楽サービス	23.6
				医療・福祉・保健衛生	14.7

出典：帝国データバンク(価格転嫁に関する実態調査(2026年2月))

燃料価格・補助路線バス利用者数の推移



まちの魅力を磨き・高める

郡山の「プロジェクトX」
明治初期の安積開さく・
安積疏水事業から始まる
発展・挑戦の歴史

開拓者
精神



南東北の交通結節点
【東北新幹線・鉄道】
東京から最短76分
市内に11箇所の駅
【東北自動車道・
磐越自動車道】
市内に5箇所のI.C

陸の港



農商工バランスの取れた
東北第2位の経済都市

民間事業所数 15,355
市内に14の産業団地

経済県都



戦後の復興期に芽生えた
音楽活動
小・中・高等学校における
合唱・合奏コンクールの
輝く表彰実績

※安積女子高校(現:安積黎明高校)
1955年から2014年までの
35年連続金賞受賞など

音楽都市
楽都



人口約31万人の中核市
人口 県内1位

平成9年に指定

中核市



令和元年7月
SDGs未来都市に選定
県内初、
先導モデル事業については東北初

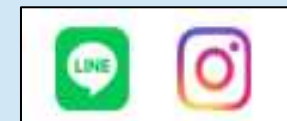
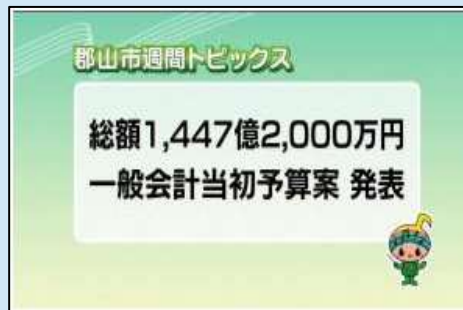
日経グローバルSDGs先進度調査結果
全国815市区中 24位
県内1位 東北では仙台に次ぎ2位
中核市57市回答中3位

SDGs
未来都市



オール郡山で「選ばれるまち」を

様々な媒体・手法で魅力を発信しています！



皆さまの御協力をよろしくお願いします。

オール郡山で「選ばれるまち」を

NEWS RELEASE



2026年7月8日
大東建託株式会社

7月8日(水)11時解禁

お住まいの街は
いい部屋ネット

街の住みこち&住みたい街ランキング2026<福島県版>ランキング発表

大東建託株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：竹内啓）は、過去最大級の居住満足度調査を行い、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2026<福島県版>」「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2026<福島県版>」として集計しました。

「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2026<福島県版>」主なポイント

だてくん こおりまち

住みこちは1位は3年連続で伊達郡桑折町。2位郡山市、3位本宮市。

順位	昨年	自治体名	偏差値	得票数	得票率
1位	1位	伊達郡桑折町	69.3	65.4	73
2位	3位	郡山市	64.0	62.4	2,137
3位	4位	本宮市	62.2	61.5	168
4位	2位	岩瀬郡鏡石町	61.9	61.3	64
5位	6位	須賀川市	61.4	61.0	434

回答者数 10,598名
ランキング対象自治体数 28自治体

※「住みこちランキング」は、2022～2026年の5年分の回答を累積して集計しています。ただし、各集計対象の自治体人数が2022～2026年の累計人数では規定の50名に満たない場合、2021年の回答も累積しています。また、2021年を追加しても規定に満たない場合は2020年の回答も、さらに足りない場合には2019年の回答を累積しています。なお、回答者に重複はありません。

○伊達郡桑折町が3年連続で1位

福島県中通り北部に位置し、福島市に隣接する自然豊かな町です。福島市内へは電車で15分程度でアクセスでき、仙台方面にも行きやすく交通利便性も良いエリアで、3年連続で1位に輝きました。

○須賀川市がトップ5入り

郡山市に隣接し、商業施設や総合病院などの医療機関が揃っているエリアです。JRや高速道路、福島空港へのアクセスもよく、利便性と暮らしやすさを兼ね備えた街です。昨年6位から順位を上げて5位となっています。

「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2026<福島県版>」主なポイント

住みたい街のトップ2は4年連続で1位仙台市、2位郡山市。3位は2年連続で東京23区。

順位	昨年	自治体名	得票数	得票率
1位	1位	仙台市	79	3.1%
2位	2位	郡山市	60	2.3%
3位	3位	東京23区	45	1.8%
4位	4位	いわき市	24	0.9%
5位	-	札幌市	12	0.5%
特になし			1,448	56.5%
今住んでいる街			487	19.0%

回答者数 2,561名

※「住みたい街ランキング」は、福島県居住者の2026年の回答を全国の自治体を対象にしてランキングを集計しています。
※行政区はまとめて一つの自治体として集計しています。

○4年連続で仙台市が1位

仙台市が4年連続で1位に輝きました。2位も4年連続で郡山市、3位は2年連続で東京23区です。4位は3年連続でいわき市、5位には札幌市が新たにランクインしています。

○今住んでいる街の肯定率は75.5%

「住みたい街が特になし」56.5%、「今住んでいる街に住み続けたい」19.0%の合計75.5%で、昨年に引き続き、今住んでいる街を評価する結果となっています。

WEBサイトでは上位にランクインした自治体や居住者のコメントも紹介していますので、併せてご覧ください。

本調査は今回が9回目となります。詳細につきましては、「住みこちランキング」WEBサイト（<https://www.eheya.net/sumicoco/>）または大東建託株式会社「賃貸未来研究所」公式WEBサイト（<https://www.kentaku.co.jp/miraiken/>）をご参照ください。

また、「住みこちランキング」WEBサイトでは、「住みこち」と街づくりに関する学術論文や調査データの解説記事掲載しています。

＜詳細データについて＞

各自治体には、回答者のコメントや住みこちに関する47項目の設問の評価などを記載した詳細データの提供が可能です。

ご希望の場合は、本リリース2ページ目記載の問い合わせ先までご連絡ください。

NEWS RELEASE

7月8日(水)11時解禁

街の住みこち&住みたい街ランキング2026<東北版>ランキング発表

大東建託株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：竹内啓）は、過去最大級の居住満足度調査を行い、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2026<東北版>」「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2026<東北版>」として集計しました。

「いい部屋ネット

1位は7年連続で富谷市。2位は...

順位	昨年	自治体名	偏差値	得票数	得票率
1位	1位	宮城県 富谷市	80.2	72.1	2
2位	2位	宮城県 宮城郡利府町	73.6	68.3	2
3位	3位	宮城県 仙台市太白区	71.8	67.2	1.6
4位	4位	宮城県 仙台市青葉区	70.5	66.5	2
5位	5位	宮城県 仙台市若林区	70.2	66.3	2

回答者数 52,669名
ランキング対象自治体数 152自治体

※「住みこちランキング」は、2022～2026年の5年分の回答を累積して集計しています。ただし、各集計対象の自治体人数が2022～2026年の累計人数では規定の50名に満たない場合、2021年の回答も累積しています。また、2021年を追加しても規定に満たない場合は2020年の回答も、さらに足りない場合には2019年の回答を累積しています。なお、回答者に重複はありません。

住みたいまち
✓県内2位
✓東北5位

○上位の自治体は複数の因子でも上位

「住みこち」で評価の高い自治体は、「親しみやすさ」「賑わい」の2因子でも高い評価を得ています。特に「賑わい」因子では、「住みこち」のトップ5と同じ自治体がランクインしています。

「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2026<東北版>」主なポイント

住みたい街1位は、7年連続で宮城県仙台市。2位は5年連続で東京23区。3位岩手県盛岡市。

順位	昨年	自治体名	得票数	得票率
1位	1位	宮城県 仙台市	688	5.6%
2位	2位	東京都 東京23区	218	1.8%
3位	4位	岩手県 盛岡市	91	0.7%
4位	3位	神奈川県 横浜市	79	0.6%
5位	5位	福島県 郡山市	67	0.5%
特になし			6,896	55.7%
今住んでいる街			2,334	18.8%

回答者数 12,391名

※「住みたい街ランキング」は、東北エリア居住者の2026年の回答を全国の自治体を対象にしてランキングを集計しています。
※行政区はまとめて一つの自治体として集計しています。

○7年連続で宮城県仙台市が1位

宮城県仙台市が7年連続で1位に輝きました。2位は5年連続で東京23区、3位は昨年4位から順位を上げた岩手県盛岡市です。

○今住んでいる街の肯定率は74.5%

「住みたい街が特になし」55.7%、「今住んでいる街に住み続けたい」18.8%の合計74.5%で、昨年に引き続き、今住んでいる街を評価する結果となっています。

WEBサイトでは上位にランクインした自治体や居住者のコメントも紹介していますので、併せてご覧ください。

本調査は今回が9回目となります。詳細につきましては、「住みこちランキング」WEBサイト（<https://www.eheya.net/sumicoco/>）または大東建託株式会社「賃貸未来研究所」公式WEBサイト（<https://www.kentaku.co.jp/miraiken/>）をご参照ください。

また、「住みこちランキング」WEBサイトでは、「住みこち」と街づくりに関する学術論文や調査データの解説記事掲載しています。

＜詳細データについて＞

各自治体には、回答者のコメントや住みこちに関する47項目の設問の評価などを記載した詳細データの提供が可能です。

ご希望の場合は、本リリース2ページ目記載の問い合わせ先までご連絡ください。

新 中小企業の賃上げを支援

～中小企業賃上げ支援事業～



1 億502万円

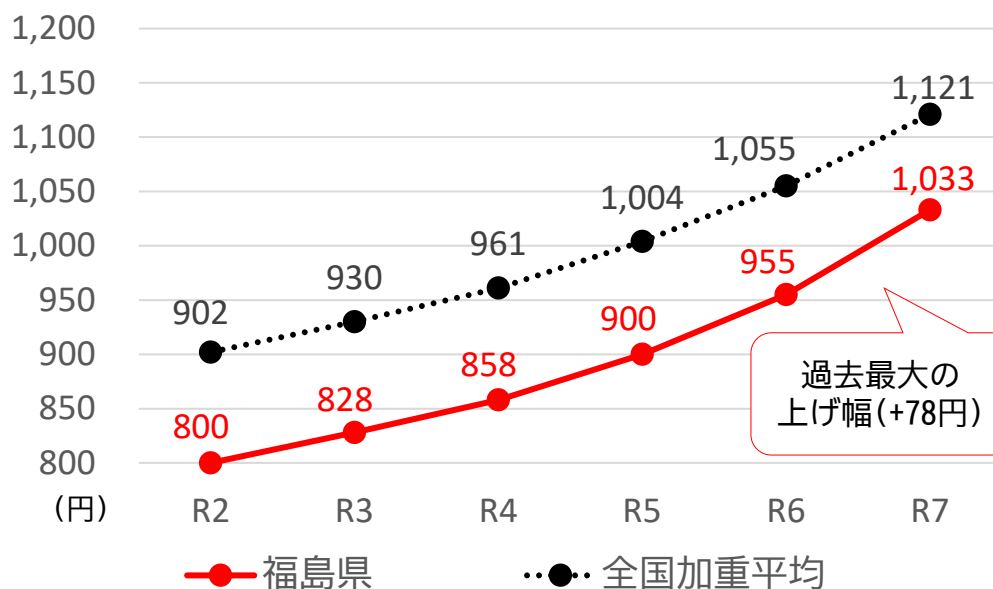
財源区分：臨時交付金

最低賃金を引き上げる市内中小企業等を支援するため、県の「中小企業賃上げ緊急一時支援事業」の支給額に加えて、1万円を上乗せして支給します。

課題・背景

令和8年1月1日より福島県最低賃金が1,033円に改定

【福島県最低賃金の推移】



賃上げに要する経費の一部を補助することにより
経営への影響を緩和し、雇用の維持を図る

事業概要

1 支援対象者

福島県の「中小企業賃上げ緊急一時支援事業」の
支給決定を受けた市内の中小企業・小規模事業者等

2 支援額

市1万円

県3万円

労働者1人当たり1万円
(別途、県から3万円を支給)

3 対象者数

約10,000人 (3,300事業所) 見込み

4 受付期間

令和8年2月末～9月 (予定)

県へ申請
2月～5月予定

県から
交付

市へ申請
2月末～9月予定

市から
交付

市内企業の積極的なP R

郡山の多様な産業が一堂に会する総合展示会

こおりやま産業博

KORIYAMA EXPO 2026

つながる産業、広がる未来

出展者募集のご案内





夏休みの思い出に
自由研究にもピッタリ!

親子で発見! 郡山 おしごとと体験 バスツアー

見て・聞いて・体験しよう!

参加費
1人500円
(昼食代・体験代含む)

郡山市内在住又は在学の小中学生と
保護者の方を対象に、郡山市内の事業所を
見学・体験する親子バスツアーを
開催します。

COMPANY TOUR

第1回	第2回
 株式会社郡山製糖 令和8年8月1日(土) 午前9時～午後4時まで(予定)	 株式会社太田福祉記念会 令和8年8月2日(日) 午前9時～午後4時まで(予定)

申込期間
令和8年 6月26日(金)～
7月24日(金)まで
※定員を超えて応募があった場合
抽選となります。

参加対象
郡山市内に在住又は在学の
小学4年生～中学2年生と
その保護者

募集
各
(親
※必

未来の仕事に出会う夏。

地元をもっと知る もっと好きになる 地元企業の職業体験イベント

みらい発見フェス こおりやま 2026

身近な企業から
未来の自分を
イメージする



郡山市
KORIYAMA CITY

こおりやま産業博 3つの特徴

- 1 多くのお客様に展示即売や自社の商品・サービス等
をPRすることができます。
- 2 「体験型ワークショップ」を実施することで、来場者と
交流を深めることができます。
- 3 出展者を対象とした「出展支援プログラム」を開催。
出展に関する効果的なノウハウを習得できます。

開催日時
令和8年 10月31日・11月1日
開催時間 / 10:00～16:00
※10/30(金) 会場搬入・交流会など

会場
ビッグパレット

主催 郡山市産業振興実行委員会(郡山市・福島県さくら農業協同組合・郡山地区商工会連合会)
お問合せ 郡山市産業振興実行委員会事務局(郡山商工会会館3階 産業振興課) 平日9:00～17:00
TEL 024-921-2620 / FAX 024-921-2640 / メール sanyingyouhaku@entre.gr.jp

最後に



皆さまとともに未来を拓き、「動」かしていきましょう！